

印刷市場は18.2%成長

(2006年
～
2011年)

先進国は低迷、新興9カ国が急成長

順位	国	2006年	2005-06年 成長率	2011年	2006-11年 成長率
1	米国	182,000.7	2.8%	196,722.7	8.1%
2	日本	84,976.0	-3.3%	88,363.7	4.0%
3	中国	41,200.0	17.0%	65,934.1	60.0%
4	ドイツ	38,794.2	1.5%	43,329.9	11.7%
5	英国	34,937.0	4.0%	39,030.6	11.7%
6	フランス	23,251.5	2.9%	26,731.4	15.0%
7	イタリア	23,069.3	2.6%	26,000.4	12.6%
8	カナダ	16,136.4	11.6%	17,792.2	10.3%
9	スペイン	13,856.0	4.1%	16,074.4	16.0%
10	ブラジル	12,522.2	18.5%	19,192.2	52.9%
11	メキシコ	12,277.5	7.1%	16,550.4	34.8%
12	インド	12,131.0	7.8%	20,990.7	73.0%
	全世界	609,809.0	27.6%	720,690.0	18.2%

主要国の印刷市場2006～2011年（百万ドル／PRIMIR「世界の印刷市場の研究」／数値は周辺ビジネス含む）



サッジョモ会長

全米印刷機材業者連合会（NPIES）はIGAS 2007会期中の九月二十二日、東京有明の東京ビッグサイトで記者会見を開き、二〇〇六年から二〇一一年までの世界の印刷市場について、一八・二%成長する見通しと発表した。

記者会見にはIGASに合わせて来日したトーマス・サッジョモ会長、ウリアム・K・スマイス副会長、ラルフ・ナツピ社長が出席。世界の印刷産業の展望を説明した。

サッジョモ会長はNPIESの活動について「一九三三年にニューヨーク

で設立した。十二社でスタートし、現在は四六〇社が加盟している。現在はワシントンDCを拠点にしており、国内外の市場調査や政府に貿易政策を提言している。PIA

中ではアメリカが八・二%、日本が四・〇%成長し、引き続き世界第一位、二位に留まるが、第三位との中国との差は急速に縮まる。また、インド、ロシア、中国、マレーシア、インドネシア、トルコ、ブラジル、ポーランド、ウクライナの新興市場では五〇%の成長が見込まれている。

セットオフ輪、グラビア、フレキソ、スクリーン、凸版印刷が軒並み減少。一方、電子写真印刷が四三・七%増、インクジェット印刷機が五一・七%増で、デジタル印刷分野が急成長する。

「GATF、NAPLとともにシカゴで開催されるPRINTを主催するグラフィックアーツショーカンパニーを経営している」と説明し、「印刷産業は衰退していると言われているが、まだ長い将来がある。世界中の印刷業者を支えていきたい」と述べた。

印刷製品はパッケージ分野が最大の成長分野となる。次いでダイレクトメールやチラシなどの広告印刷の分野が伸びる。しかし、ビジネスフォームやカタログ、電話帳はインターネットにシェアを奪われ、とくに先進国で伸び悩むと報告している。

「先進国の印刷会社は生き残りを図るなら変化しなければならない」と指摘した。

「一八・二%の成長を示しながらも先進国で成長が鈍化。一方、新興市場では引き続き高い伸びを予測している。その

印刷関連機器は枚葉オフセット印刷機、ロールドセットオフ輪、ヒート

記者会見では国際機材展PRINT09の開催も告知。二〇〇九年九月六日から十一日までシカゴのマコーミックブレイスで開催される。